

チャペル週報

No. 8

2013. 5.27～5.31

主に従う人は、口に知恵の言葉があり、
その舌は正義を語る。

(詩編37:30)



西宮聖和キャンパス ダッドレーモリアルチャペル

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 5月27日(月) 神 西村博美(神学研究科M1)
経 「経済と人間⑧」原田哲史(経済学部教授)
人 人間について考える② 孫良(人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語「神さまに助けられた人々」
-
- 5月28日(火) 院 樋口進(宗教センター宗教主事)
神 神田健次(神学部教授)
文 森田雅也(文学部教授)
社 大学で学ぶとは?③ 森康俊(社会学部准教授)
法 法学部音楽賛美シリーズ 聖歌隊
経 「経済と人間⑨」豊原法彦(経済学部教授)
商 山本俊正(宗教主事)
国 音楽チャペル(1) バロックアンサンブル
聖和 Ruth M. Grubel(院長)
総 関学三田ディベート道場
-
- 5月29日(水) 神 柳澤田実(神学部准教授)
社 宗教総部によるチャペル
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
商 山本俊正(宗教主事)
国 木本圭一(国際学部教授)
聖和 田淵結(教育学部宗教主事)
理 「み言葉は私の足のともしび」前川裕(宗教主事)
総 村瀬義史(宗教主事)
-
- 5月30日(木) 神 柳川真太郎(神学研究科M2)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 大学で学ぶとは?④ 前村奈央佳(社会学部准教授)
法 栗林輝夫(宗教主事)
経 舟木讓(宗教主事)
商 English Chapel Jesse E. Olsen(国際学部准教授)
国 English Chapel Eun Ja Lee(宣教師)
聖和 聖和創立133周年記念礼拝「神さまが傍にいてくださることを信じる」
森本宮仁子(大阪聖和保育園園長)
総 山中速人(総合政策学部教授)
-
- 5月31日(金) 神 岡田弥生(社会学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 「経済と人間⑩」栗田匡相(経済学部准教授)
人 音楽チャペル バロックアンサンブル
聖和 「はなのすきなうし」持田葉子(聖和短期大学准教授)
理 音楽チャペル KG Blessed Choir
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月31日(金) 国際学部のために 伊藤正一(国際学部長)

共にした時間

福 田 靖 弘

春爛漫。^{らんまん}満開の桜が新年度の幕明けを告げました。

初等部は4月5日、満ち溢れる祝福のなか90名の新一年生を迎え、8日の始業礼拝は、転入生3名を加え全校生540名での出発となりました。

“夢みる心 叶える力を育む学校”をメインテーマに、「正義を崩さない、正義を後退させない」経営をめざします。

新六年生は3月の結びの式で、聖句“ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すればその報いは良い。(コヘレトの言葉4章9節)”を引き、この一年「優しさとけじめを併せ持つ、責任感ある最上級生として下級生をリードする」と語りました。

私は入学式で「一年生のお手本は六年生です。一年生は六年生を真似なさい。一年生は六年生を真似なさい」と話しました。

ケガをした一年生をおぶって登校した六年生や、散歩中の犬に、また咲きほこる花々に挨拶をする一年生が誕生しました。

私はこれを誇りに思います。

高学年が低学年をいたわり、低学年が高学年を慕^{した}う、縦のつながり感のある初等部。異年齢との交わりが増えることで、スクール・モットーである“Mastery for Service”は、さらに積み上がることでしょう。

今年の2月中頃からでしょうか。朝の登校時「宝塚花のみち」から初等部に通じるスロープを親子が歩いています。

昨年の3月、同じような光景を眼にしました。昨春は、休日の散歩のような何げない姿に見えましたが、今年は、はっきりとした違いがありました。

幼き子とその親御さんらしき人は、初等部の児童やOBの子ども見守り隊『スカイレンジャーズ』さん、さらには立ち番のPTAの皆様挨拶をされているのです。自宅から学校までの通学路をたどっての登校練習。この子は、今年一年生になるのです。

通勤・通学ラッシュ時の車両や階段、改札、時差信号。さらには、雨の日の傘など人々が行き交う慌ただしさの中で「初めて」の体験ばかりです。

入学前にお父さんやお母さんと共にしたこの時間は、何ものにもかえがたい安心になったことでしょうか。この後も、丁寧な挨拶を交される何組もの人たちと出会うことができました。

春の芽吹きはこうした形で生まれ、初等部のスタートとなりました。

(初等部 校長)

●国際シンポジウム：「平和への権利」が切り拓く未来

「平和への権利宣言」を一つの手がかりとし、世界の各地で生じている「構造的暴力」をくい止めるための人権の果たす役割を広く社会に伝え、日本や世界各地の人権のとりくみがどのように平和の創造につながるかを考える。また、国連での専門的な議論を、世界各地で生じている事実と関連づけることで、平和と人権の関係及び、『平和への権利宣言』の必要性について考える。

と き：5月28日(火) 13:30~16:40

と ころ：関西学院会館レセプションホール

プログラム：

Part 1 国際社会の動き(13:30~15:00)

「生まれつつある平和への権利ー見果てぬ夢か」

坂元茂樹(神戸大学大学院法学研究科教授)

「『平和への権利』が切り拓く未来：マイノリティ人権時代の開幕」

武者小路公秀(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター特任教授)

Part 2 現場からの報告(15:10~16:40)

「女性と子どもの静かな死：タイ南部の紛争と暴力の経験から」

アンカナ・ニーラパイジット(平和のための正義財団理事長)

「『自分の国に帰る権利』から平和を考える~ブータン難民の事例」

根本かおる(ジャーナリスト)

モデレーター：川村暁雄(関西学院大学人間福祉学部教授)

主 催：関西学院大学

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、閑学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月30日(木) 関西学院バロックアンサンブル

6月3日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月4日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル

6月6日(木) 関西学院聖歌隊

6月10日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

6月13日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12:50~13:20

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00~18:20 1405教室)

5月31日(金) Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。